

エッセイ Essay



フィリピン人と日本人が 手を取りあう社会を目指して

Toyohashi Filipino Association

代表 戸澤 ノラ

豊橋市には多くの外国人市民が住んでいます。その数は1万4,223人(3月1日現在)で、人口の約3.76%が外国人市民です。国別では、1位はブラジル、2位はフィリピン、3位は中国で、豊橋市におけるフィリピン人の人口は2,798人にのぼります。私が来日した22年前と比べると、外国人市民は約2倍に増えました。

以前はフィリピン人の多くはタレントビザで来日していましたが、近年は日本の国際化が進み、外国人にとって住みやすくなってきていることから、5,6年前から研修生として来日する人が増え、最近では日系フィリピン人の来日が増えています。

しかし、言葉や母国との文化・ルールの違いなどがあり、日本で暮らす中で生活に困っている人も多くいます。例えばスーパーの買い物では、母国ではカゴを使わずそのままカートに品物を入れますが、日本ではカゴを使用します。日本語で教えてもらっても理解できず、パニックになる人もいます。

私たちフィリピン人は、助け合いの精神があり、以前から困っている人のために個々で支援していました。しかし、NPO法人ABT豊橋ブラジル協会のように、私たちがグループとなることで、広く情報提供や支援をしたいと思ったこと、また初めて来日したフィリピン人もグループなら安心して利用できることから、地域のフィリピン人の為に活動したいと思う有志7名で、2015年にグループの活動を開始しました。2015年8月には最初の会議を開催し、日本在住歴が一番長い私が、皆さんから推薦をいただき代表に就任しました。

昨年10月には、総勢40名で豊橋祭りに参加しました。この日のために踊りの練習をし、みんなで着たオリジナルのコスチュームは市民の皆さんから好評でした。11月にはとよはしインターナショナルフェスティバル、12月には地域の老人ホームで、母国のダ

ンスや歌を紹介しました。地域の方との交流も始まり、フィリピンの文化を伝える活動にも力を入れています。また、設立してすぐにグループのFacebookを開発。地域のフィリピン人を代表してマイナンバーの講習を受け、Facebookを通して情報発信をしました。その他にも、外国人のための税務相談会など生活に関する情報の共有や、地域のフィリピン人同士の交流を深めるためのイベントを企画開催し随時発信しています。

私たちのグループも口コミで広がり、Facebookのメンバーは3月現在350名になりました。いつか豊橋に住むフィリピン人全員がメンバーになってもらえたら、私たちはもっと強くなれると思います。現在、国籍問わずメンバーを募集しています。ご興味のある方は“Toyohashi Filipino Association”で検索してみてください。

今後は、多くのフィリピン人が日本のコミュニティに早く溶け込めるよう、リーダーシップのあるフィリピン人を選んで、豊橋全域や東三河地域へ情報が流れる仕組みを形成したいと思っています。そして、フィリピン人と日本人がともに手を取り合い、いじめや差別のない社会となれるよう、地域の国際交流に力を入れていきます。



地域の老人ホームにてフィリピンのダンスを紹介